

---

**チートが（ばれたら自分の身が）危なすぎて介入できるか！！**

Acta est Fabula

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

チートが（ばれたら自分の身が）危なすぎて介入できるか！！

### 【Nコード】

N5120Z

### 【作者名】

Acta est Fabula

### 【あらすじ】

神様に殺されました、けど美人だったので許します。え、チート？  
？いらぬから普通に人生を謳歌させて下さい。

ブローグ・・・だけど死にかけます(前書き)

息抜きです。更新遅いです。

## プロローグ・・・だけど死にかけます

はーい、どうもみなさんこんにちは、こんばんわ、おはようございます。

この物語の主人公で旧姓「高宮 京」です。

性別は「男」、MAN、 、けて女じゃないっすから名前で勘違いしないように！！

まあ、今ので分かったかもしれないっすけど俺は転生者で神様に殺されてこの世界に転生させられたみたいなんですよ。  
そのときの会話をどうぞ。

「申し訳ありませんでした。」

「いや、もういいっすから。顔を上げてくださいよ、きれいな女性に頭下げられるとこっちが恐縮しちまうっす。」

この目の前で頭を下げる女性（巨乳）俺を殺した張本人で神様らしい。どうやら人間の寿命が乗ってある帳簿に「コーヒー」をこぼしてしまっただけだ。それを拭く時に力を入れすぎたせいか俺の名前が書いたペー지를破ってしまったらしい。それが原因で俺は心臓発作で死んでしまったわけだが・・・何、神様の女性はみんなこんな美人で巨乳なんですか？目線が神様（巨乳）の胸元に集中するんですけど、頭を下げるにより胸がぶるんぶるん重力に引かれて動く。目線

を逸らせない！！しょうがないよね！！だって男の子だもん！！

「あの〜」

「あつ！！すみません、どうぞどうぞ話の続きをお願いします」

「は、はい。えっと、こちらの不備で貴方を殺してしまったのであなたには違う世界に転生してもらおうと思っっているのですが・・・」

「はあ〜、転生ですか？違う世界って言うのはどんな所なんですか？」

「はい、貴方達が言う二次元の世界、アニメ、マンガの世界ですね。」

アニメとマンガの世界ね〜。正直な話あんまりそういうのは見ないんですよ〜自分は。友人から何冊かマンガを借りたことがありましたがそれっきりなんですよ。いつもバイトばかりしてましたから。

「それでなんていう世界なんですか？」

「リリカルなのはの世界ですね。」

「リリカルなのは？・・・あ〜FORCEですか？それなら友人からマンガを借りて呼んだことがあります。」

「い、いえ、FORCEではなくSTRIKERSの世界の始まる前に転生してもらおうかと。」

FORCEじゃなくてSTRIKERS？。たしかSTRIKERSは友人から聞いただけで全部の内容は知らないんですよ。オッド

アイの女の子が戦艦に乗って「焼き払え!!!」ってする話でしたっけ？

「それで転生するに当たって貴方に特典を三つつけようと思ってるのですが？」

「特典？それって何ですか？」

「能力や容姿何でも良いので今言った数だけ私が付属させる、言っ  
てしまえば神のご加護みたいなものですね」

ん〜正直普通に暮らせたならそう言う特典とかいらなそうですよね自分。あ、けど一つだけ使いたい能力ならあった気がする。

「重力制御がいいっす」

「重力制御ですか・・・？そんなマイナー能力で良いんですか？」

「はい。他の二つは神様が決めてください。」

「えっ!!!わ、私ですか？」

「正直な話、今の一つしか考えられなくて。あ、ですけどその二つの特典はその世界に合ったものにしてください。」

神様にそう言うとなんだか一瞬考えるそぶりを見せて何かを考え始めた。けどすぐに頭を上げ少しはつきってるような顔で俺に言ってきた。

「わかりました!!!他の特典は私が考えます!!!貴方は後ろにある

白い扉の中に入って今から転移する世界に行ってください!!」

「は、はい、わかりました。」

そういうと俺は後ろを向き白い扉がある方向に歩いて行った。何であの神様あんなに張り切ってるんですかね。俺は白い扉の前に立つとドアを開けその扉の中に入っていった。

side 神様(巨乳)

「行ってしまいましたか・・・」

青年の後姿が見えなくなるどうやら扉の中に入っていったようだ。

あの青年は私の失敗で殺してしまったのに何も言わずに私を許してくれました。今の人間であんな優しい人はいたいだれだけしかないんでしょう?しかも、あの欲望の無さ!!特典は一個だけ決めて他の二つを私に委ねるなんて、彼は思いつかないといっていました。がきつと遠慮してたんでしょう!!(本当に何も無かっただけです)よし!!決めましたあの人には転生した世界で無事に過ごせるように特典を考えましょう!!えくとたしかFORCEのことは知ってましたよね?なら能力のほうはFORCEからとって、そして魔改造してつと・・・完成!!これであの人転生した世界で手元に行くように設定してつと!!あ、容姿も変えておきましょう!!容姿はSTRIKERSからえくと・・・この少年!!この少年の双子の兄にしたら顔立ちも一緒ですしかなりかつこよく成長するはずです!!そして最後にこの遺伝子を入れて・・・完成!!

よし、コレで準備OK!! 私は転生させた人の様子を見ることができないんで助けてあげることが出来ませんが無事に第二の人生を謳歌できるように祈っています!! 頑張ってください!!

side out

つと言っ感じてこの世界に転生させられました私なのですが・・・なんか分からないっすけど神様がすごいい余計なことをしてくれたいで危険な目に合いそうな気がするんすよね。まあ、神様に決めてくれて行った自分が悪いので文句はいわないっすけど。

で、いまの自分の状況なんですが。

なんか密閉された子供位の大きさのカプセルの中で溺れかけてます・・・

・ 第二の人生早くも終了っすか!! ちょ、たすけ、ごぼごぼpp・・・



プロローグ・・・だけど死にかけます(後書き)

主人公の性格は俺翼の千歳鷺介の性格を少し優しくした感じですよ。

更新は不定期です

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5120z/>

---

チートが（ばれたら自分の身が）危なすぎて介入できるか！！

2011年12月17日11時50分発行